

平 29 年 12 月 1 日

公益社団法人 日本眼科医会
会長 高野 繁 先生御机下

国立研究開発法人国立がん研究センター
がん対策情報センター長 若尾 文彦

眼腫瘍専門施設情報公開プログラムへのご協力をお願い

平素より当センターの活動にご協力いただきましてありがとうございます。この度、国の定めるがん対策推進基本計画における希少がん対策のため、厚生労働省委託事業により、眼腫瘍の診療を専門とする施設に関する情報公開プログラムへの参加を、全国の院内がん登録を実施する医療機関に対して募集することとなりましたので、お知らせ申し上げます。

平成 29 年 10 月に閣議決定された第 3 期のがん対策推進基本計画では、希少がん患者が安心して適切な医療を受けられるよう、適切な標準的治療の提供体制、情報の集約・発信、相談支援、研究開発等のあり方について施策として取り組むべきことが掲げられています。

しかし、わが国では希少がんの診療実態についての情報は限られており、特に「どこの施設が専門施設なのか」が、患者や国民に分かりづらいとの指摘が繰り返されてきました。

そこで、厚生労働省の委託により運営されている「希少がん対策ワーキンググループ」では「眼腫瘍分科会」を設置し、日本医師会や関連学会や患者団体から推薦を頂いた委員により対策を検討しておりました。このたび、分科会において合意が得られた条件を満たす専門施設に関する情報公開プログラムを実施するにあたり、全国の院内がん登録を実施する医療機関に対して本プログラムへの参加施設の募集を行います。医療機関向けに送付予定の案内一式を同封いたします。

本プログラムは希少がん対策のために非常に重要な活動あり、収集した情報は平成 30 年 4 月を目途に国立がん研究センターのホームページに公開し、患者の受診先・紹介先の選択に活用いただきたいと考えておりますので、貴会におかれましては、本プログラムにご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

https://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/health_s/about/opinions/rcwg/index.html

眼腫瘍専門施設情報公開プログラム概要

プログラムの目的：

眼腫瘍診療の専門施設の所在と実績について情報公開し、患者の受診先・紹介先の選択を支援する。

プログラムの実施：

全国の病院に対して参加募集を行い、一定の要件を満たした施設について診療体制、実績のデータを収集し、国立がん研究センターのホームページにおいて公開する。

公開項目については、希少がん対策ワーキンググループ眼腫瘍分科会において検討して決定する。一定期間毎（毎年を想定）に情報や専門施設の見直しを行う。

案内の送付：

全国で厚生労働省の指定するがん診療連携拠点病院・小児がん拠点病院等には施設長宛に直接案内を送付する。ただし、参加可能な専門施設の要件は別途定めており、がん診療連携拠点病院には限定しない。

プログラムの日程：

本プログラムの募集は12月11日から開始し、平成30年1月19日必着で応募締め切りとする。

【本件照会先】事務局：国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部

Tel:03-3547-5201（内線:1606） Fax: 03-5565-2322,

Email: hsr@ncc.go.jp 担当：東・富塚・今埜